

# こうとう民報

2012年 3月号 89

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 とうとう民報編集委員会  
責任者 猪又 武夫  
住所 江東区東陽2-3-5-203  
電話3648-5155FAX3648-5137  
ホームページ  
http://www.koto-minpo.jp/

## 「東京大空襲を語り継ぐつどい」 平和で人権が守れる日本に!



今年の「つどい」は東京大空襲・戦災資料センター開館10周年を迎えたなかで、3月10日、カメラアホールで500人を超える参加で開催されました。

「つどい」は沖繩から平和の願いを込めて喜納昌吉さんの歌が始まりました。山本センター主任研究員からセンター10年のあゆみが報告され、毛利小学校の2人の児童が「命以外に大切なものはない。戦争は起きてほしくない」などセンターを訪問して学んだことを発表しました。

稲葉喜久子さん(円内の写真)は空襲体験を語り「百人百様の体験を語り」とを大切にしたいと訴えました。

また、証言映像プロジェクトが作成した「その爆音の下で」女子挺身隊の語り」が上映され、出演の鷹野悦子さんが会場で紹介されました。

特別報告では東京大空襲訴訟弁護団の中山団長は「政府は戦後、軍人・軍属に50兆円にのぼる補償をしてきたが、空襲被害者には何ら救済・補償もなく、こんな不条理な差別はありません。空襲被害者等援護法の早期制定が必要であり、その実現のため共にがんばりましょう」と訴えました。続いて安斎育郎科学・平和事務所長(写真)は、3月10日の東京大空襲と3月11日の東日本大震災をつないで平和と人権の課題について講演を行い、「戦争も福島原発災害も『国民総動員翼賛体制』の成れの果ての結果であり、一人ひとり

が主権者意識をもつて国在り方を考えなければいけない」と強調しました。最後にセンター館長の早乙女勝元氏は「この10年で来館者は10万人を超えた。東京大空襲も東日本大震災もまだ問題は解決されていない。平和・民主主義・革新統一をめざす運動に賛同する個人・団体代表など46名が参加しました。

区議会議事録

区議会第一回定例会には23本の値上げ条例案が提出されました。うち3本は医療・介護保険料、残り20本は文化センターやスポーツセンターなどの利用料です。

介護保険料は、保険料負担区分の多段階化などで、低所得者の値上げ幅を抑える努力はされたものの、基準額(本人非課税、世帯に住民税課税者がいる場合)で年1万2千円の値上げ(この値上げ案に公明党は早々と賛成を表明)。後期高齢者医療保険料は平均で年7831円の値上げ。国民健康保険料も所得割率の引き上げと介護納付金、後期医療支援金の増加の影響で値上げとなりました。

また区民館・文化センターやプールなどスポーツ施設の医療・介護保険料、質の利用料など区民にわたる負担増が後押し

「社会保障と税の一体改革」を斬る!  
相野谷安孝中央社保協事務局局長が講演

3月5日、江東革新懇は「2012年 年次総会と学習会」を開催しました。この総会には、平和・民主主義・革新統一をめざす運動に賛同する個人・団体代表など46名が参加しました。

江東革新懇代表世話人後藤寛東部法律弁護士との挨拶で始まった年次総会で、一年間の活動の報告と方針、新役員の提案が満場の拍手で採択されました。学習会では、相野谷安孝中央社保協事務局局長が



参加の女性が、短期間に700名を超える値上げ中止を求める署名を添えた陳情がよせられています。

ところが14施設の値上げ案が審議された区民環境委員会では、反対の論陣を張ったのは共産党議員だけで、自民党議員が「区民によく周知するよう」に求めただけでした。

また民主主義議員は、昨年12月の企画総務委員会で「フルコストで検討してはどうか」「今回なぜフルコストに対する見直しにならなかったのか」と発言するなど、各種値上げ案は自民・公明・民主・みんなの党のオール与党の賛成で可決されました。

死者15854人、いまだに行方不明者3000人超、家も仕事も捨てて避難している16万人。大震災1周年の3・11を迎えました。江東区にも故郷から追われた1300人の方々が、かなわない帰郷の願いと不透明な将来への不安にさいなまれています。

原発推進の「ペンタゴン」といわれる共同体の大罪は計り知れませんが、野田総理は原発再稼働を念頭にいち早く「収束宣言」をだし、こともあろうに原発推進予算を4188億円を盛り込み、使用済み核燃料の再利用の開発に充てました。「アメリカでは手がつけられないこの技術を、日本で実験させる」と指摘する専門家もいます。放射能拡散は他人事ではありません。日本共産党都議団の調査で、葛飾・水元公園の土壌1キロ当たり2万3千ベクレル(チェルノブイリでは居住禁止の高濃度セシウム)を検出。江東区内にも毎時0.5マイクログラムレベルのホットスポットが散在しています。弘前大の浪江町住民を対象にした健診の結果、そのうち80%の50人に50(87ミリシーベルト)の甲状腺異常を発見したとのニュースも流れました。「原発の蓋あきしまま 去年今年、長谷川権震災句集の一句です。「原爆忌」のように「原発忌」が季節語にならないように、国民の総意で今こそ原発ゼロに。

「社会保障と税の一体改革」を斬る!」をテーマに講演しました。

冒頭、江東区でも区民の暮らしを切り縮める行財政改革の計画が進められようとしているが、「社会保障と税の一体改革」とのたたかいで、国の構造改革と対決し、政治を変えるような運動が必要だと強調。資料をもとに社会保障を切り捨てる「一体改革」の内容を説明しました。

「区は「受益者負担」を値上げの根拠としています。」「区民の文化の高揚と福祉の増進」「健康で文化的な区民生活の向上に寄与」する目的で、区民の税金で作った施設、誰もが手軽に利用できるように利用できるようにする。」「区民にわたる負担増が後押し



# 寒風ついて2・28怒りの地域総行動区民集会 働くものと区民の暮らし・営業を守ろう！



2月28日、江東大運動実行委員会は「怒りの地域総行動区民集会」を猿江公園で開き21団体・381名が参加しました。

この日は、早朝から区内駅頭での宣伝、ハローワーク木場、亀戸労働基準監督署などへの要請行動も行いました。集会では、吉沢江東社保協会長から「福祉、医療、介護等区民にとって厳しい状況が進んでおり、政治が変わらな

## 概説 江東の歴史 (8)

### 「元木場町と築地町」

歌川広重「深川木場」(名所江戸百景)



江東区の開発の第三期は、明暦(1657年)の大火後の幕府の大規模な都市計画により元禄年間(1688~1703年)に、油堀川(首都高速深川線)周辺の元木場町21カ町と仙台堀川周辺の築地町24カ町がつくられました。

元木場町は、1699年に伊奈半左衛門が材木置場として築きあげたのを、町人が買い受けて町屋にしました。そのうち小松町(福住1丁目)は干鰯問屋の所有地で「干鰯場」、隣接する松賀町には伊勢商人九郎右衛門の48棟の土蔵があり「いろは蔵」と呼ばれました。油堀北の堀川町は「河岸通り油堀」、仙台堀に面した今川町は「河岸通り仙台堀」などと呼ばれています。

築地町は、1698年に伊奈半左衛門が埋立てた土地を町人が買い取ったものです。そのなかで、現在の地名と違っているのは三好町は平野3丁目、元加賀は江戸初期に加賀前田家の下屋敷のあった平野4丁目(木場公園)にあり、その名は今も元加賀小や公園に残っています。一色町と平野町は元木場の中でしたが、築地町の中心は材木商冬木家が住んでいた冬木町で、冬木弁天堂は冬木家が邸内社として建てたものです。冬木町と平久川をへだてた東の鶴歩町(木場3丁目)は、この町の名主で榎本其角の門人だった平野甚四郎の俳名で、それは其角の俳句「日の春をさすがに鶴の歩みかな」からとったものです。(木場3丁目の親水公園には「鶴の橋」がかかっています)

冬木町から平久川の東の木場は、広重の「深川木場」(名所江戸百景)に描かれているような一面広大な材木置場でした。

ければ区民の暮らしは変わらない」と主催者挨拶。共産党の菅谷区議は「区長は自ら消費税推進論者と言い、国保料や区民施設使用料など区民負担を押し付けようとしている。区民の暮らしを守る区政実現のため共に頑張りましょう」と連帯の挨拶。参加団体からは決意表明が

行われ「庶民、中小業者に負担を押し付ける消費税増税の反対」「営業と働くものの暮らしを守る八紘約条の制定」「障害者自立支援法廃止と障害者のための新法を」「山崎区政の職員削減と区民負担を強いる行革をやめさせよう」と訴え、集会終了後は亀戸駅までデモ行進を行いました。



3月13日、東京土建江東支部会館にて、江東社会保障推進協議会 第19回定期総会が開催されました。吉沢会長は「この1年は大震災、原発事故、そして税や社会保障改悪の動きが強まり、激動の1年であった。問題意識をもつて着実に取り組みをしていきたい」と挨拶。

前沢東京社保協事務局長は「震災復興は進んでいないが消費税増税と社会保障改悪の動きは進んでいる。今こそ憲法25条に基づき、いのちとく



2月25日、さよなら原発・江東は講演会を開き、60人が参加しました。第一部では、福島県浪江町から江東区に避難してきている5人の方から、震災直後の

## 「3・13 重税反対江東区民集会」

最後に「格差と貧困にストップをかけ、誰でも安心して暮らせる社会保障の実現をめざして全力を挙げる」との宣言を

3月13日、「3・13重税反対江東区民集会」を開き7団体・420名が参加し「長引く経済低迷の中、さらなる増税となれば、家計と中小業者を直撃し、日本経済をどん底に突き落とすことは明らか」と訴えました。



来賓として参加したあぜ上三和子都議は「社会保障削減、消費税増税の一体改革を厳しく批判し、一緒に消費税増税ストップ、くらしと営業を守るために頑張りぬきましょう！」と挨拶。

行事日程  
4月15日(日)  
10時 森下公園集合  
「原発をなくす江東区民パレード」大運動実行委員会

東・西税務署に向けてデモ行進を行い、統一申告を行いました。